

平成30年度 全国学力・学習状況調査<行田市の分析結果>について

- 1 調査の目的
 - ・学校における児童生徒への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ・教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。
- 2 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- 3 調査日 平成30年4月17日
- 4 行田市・埼玉県・全国の平均正答率・平均正答数

【小学校6年】

調査科目・調査問題数	行田市	埼玉県	全国
国語A・12問	71%・8.5問/12問	71%・8.5問/12問	70.7%・8.5問/12問
国語B・8問	53%・4.2問/8問	54%・4.3問/8問	54.7%・4.4問/8問
算数A・14問	60%・8.5問/14問	62%・8.7問/14問	63.5%・8.9問/14問
算数B・10問	48%・4.8問/10問	50%・5.0問/10問	51.5%・5.1問/10問
理科・16問	58%・9.3問/16問	59%・9.4問/16問	60.3%・9.6問/16問

【中学校3年】

調査科目・調査問題数	行田市	埼玉県	全国
国語A・32問	75%・24.0問/32問	75%・24.1問/32問	76.1%・24.3問/32問
国語B・9問	59%・5.3問/9問	61%・5.5問/9問	61.2%・5.5問/9問
数学A・36問	63%・22.6問/36問	65%・23.4問/36問	66.1%・23.8問/36問
数学B・14問	45%・6.3問/14問	47%・6.5問/14問	46.9%・6.6問/14問
理科・27問	64%・17.4問/27問	65%・17.6問/27問	66.1%・17.9問/27問

5 調査結果の概要

【小学校 国語について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

<A問題>

- ◇文の中で漢字を使う (かみ理)
- ◇文の中で漢字を使う (せつ極的)
- ◇文の中で漢字を使う (せい造)
- ◆【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか適切なものを選択する
- ◆【話を聞いている様子の一部】の、イに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する
- ◆図書館への生き方の説明として適切なものを選択する
- ◆『くらやみ物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する

<B問題>

- ◇これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げて、条件に合わせて書く
- ◇「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に書いた理由として適切なものを選択する
- ◆山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する
- ◆【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する

学習指導改善のための今後の方策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○ 話す・聞く能力を高めるために

- ・相手や目的、場面、状況に応じて適切に説明の仕方を工夫すること（言葉を置き換えること、内容や順序を考えると、相手の理解の状況を確認しながら説明すること）ができるようにする。【5年～】

- ・話し合い活動における司会者・提案者・参加者に加え、**例えば解説係**（話し合いには参加せず、司会者・提案者・参加者の発言について気付いたことを全体に提示していく役割）を設定するなどして、話し合いを観点に沿って振り返り、それぞれの役割を整理することができるようにする。【5年～】

○ 読む能力を高めるために

- ・何のために調べるのかという目的を明確にし、何について調べるのかを具体的にすることで、自分が必要とする情報がどこにどのように書かれているかをとらえることができるようにする。【3年～】
- ・国語科で身に付けた、図鑑や事典から必要な情報を得るための方法を、**他教科等の学習活動に生かすことができる機会を意図的に設定**する。その際、**必要な情報を捉えて読むこと**で課題解決を図ることができたかどうかを振り返る時間を設け、児童がその有効性を実感できるようにする。【3年～】
- ・心に残った叙述を取り上げ、その叙述を取り上げた理由を考へることをとおして、象徴性や暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目できるようにする。【5年～】
- ・同じ作者や同じ題材の作品を比べて読むようにして、児童が自分で優れた叙述に気付いていくことができるようにする。【5年～】
- ・目的に応じた適切な伝記を選んで読んだり、複数の伝記を比べて読んだりすることができるようにする。【5年～】

【5年～】

○ 言語についての知識・理解・技能を高めるために

- ・地域や保護者の方と関わる学校行事などにおいて、話をしたり、案内の手紙を書いたりする活動を設定し、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことに慣れさせるようにする。【5年～】

【小学校 算数について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

<A問題>

- ◇円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さの何倍になるかを選ぶ
- ◇針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ
- ◆針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く
- ◆二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ
- ◆分度器の目盛りを読み、 180° よりも大きい角の大きさをもとめる
- ◆200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ
- ◆円周率を求める式として正しいものを選ぶ
- ◆面積がそろっている二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ

<B問題>

- ◇合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ
- ◆「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す
- ◆1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める
- ◆横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く
- ◆一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを、着目した図形とその書くの大きさをもとに書く
- ◆一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ

学習指導改善のための今後の対策

- ★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○ 「数と計算」を高めるために

- ・数量の関係について論理的に考察したことを、式を用いて表現することができるようにする。【2年～】
- ・日常生活の問題の解決のために、**試行錯誤**するなどして**情報を収集**し、それらを**表に整理**して、条件に合う事柄について適切に判断することができるようにする。【3年～】
- ・子供たちが**数量の関係を見だし**、その数量の関係が**他の場合でも成り立つことを確かめて**、確かめた数量の関係を**的確に表現**することができるようにする。【2年～】

○ 「量と測定」を高めるために

- ・混み具合については、面積がそろっていれば、人数の大小で混み具合を比べることができることなどを、**実感的に理解**できるようにする。【5年～】
- ・混み具合を調べる際に、**除法の式と商の意味**を問題場面や図と関連付けて捉えることができるようにする。【5年～】
- ・角の大きさの測定では、**見当をつけて**、どの角の大きさを測定すればよいのかを捉えることができるようにする。ま

た、測定の結果の誤りを防ぐために、見当をつけた角の大きさと測定した角の大きさを振り返って確かめることができるようにする。【4年～】

○「図形」を高めるために

- ・円周率について学習する際には、**作業的・体験的な活動**をとおして、円周の長さが直径の長さの何倍になるのかについて**見通しをもつ**ことができるようにする。【5年～】
- ・円周率について学習する際には、**作業的・体験的な活動**をとおして、円周の長さが直径の長さの何倍になるのかについて**見通しをもつ**ことができるようにする。【3年～】
- ・図形の構成要素や性質をもとに、**式と図を関連付けて説明**することができるようにする。【4年～】

○「数量関係」を高めるために

- ・**図に表して確認**したり、**具体物を使って確かめる活動**を取り入れたりすることで、問題場面の**二つの数量の関係を実感的に理解**できるようにする。【5年～】
- ・百分率を求めるためには、問題場面から**基準量と比較量**を正しく捉え、**(比較量) ÷ (基準量)**で割合を求めることができるようにすること、及び、**基準量を100**としてそれに対する割合で表す方法が百分率であること理解できるようにする。【5年～】
- ・目的に応じて**グラフを作ったり、複数のグラフを関連付けて考察**したりすることができるようにする。【5年～】
- ・事象を目的に応じて**数値化して判断**する際に、**数直線や比などに表すこと**で、**基準量・比較量・割合**を捉え、それらの関係を的確に式に表すことができるようにする。【5年～】

【小学校 理科について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

- ◇風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ
- ◇腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く
- ◇一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く
- ◇食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く
- ◆ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ
- ◆食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ
- ◆回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ
- ◆人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ
- ◆野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ
- ◆海水と水道水を区別するために、二つの異なる実験方法から得られた結果をもとに判断した内容を選ぶ

学習指導改善のための今後の対策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○「物質」を高めるために

- ・ろ紙の役割を確認した上で、砂などがビーカーの中に入らないようにするために、ろ紙に穴を開けないようにガラス棒をどの位置に当てればよいか、ろ過する液がろ紙を超えないようにろ紙の大きさや入れる液の量をどれくらいにすればよいか等の**目的や操作の意味**について話し合い、**確かめ合う**ことができるようにする。【5年～】
- ・水に溶けた物は視覚で捉えることができないため、**水溶液の重さや体積をはかり、定量的に考える**ことができるようにする。また、物が水に溶ける様子を**絵や図等を用いて表現**することで、**質的・実体的な視点で捉える**ことができるようにする。【5年～】
- ・自分や他者の予想に基づいた実験結果の見通しを行い、複数の実験結果などから多面的に分析し、考察することができるようにする。【5年～】

○「エネルギー」を高めるために

- ・実験結果をもとにして、より妥当な考えに改善できるようにするために、**予想とその予想から実験結果までを見通し、実験から得られた結果を照らし合わせて考える**ことができるようにする。【4年～】

○「生命」を高めるために

- ・実際に腕が曲がる仕組みを筋肉の様子と**関連付けて考え、模型を用いて説明**するなど、人がどのように体を動かし

ているのかということ表現できるようにする。【4年～】

・安全に留意し、生物を愛護する態度をもって観察方法が構想できるようにする。【4年～】

【中学校 国語について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

<A問題>

- ◇適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです）
- ◇二つの意見の内容を一文で書き加える
- ◇漢字を読む（模型を作る）（池の水が凍る）
- ◇漢字を書く（先制点をユルス）
- ◇「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する
- ◇適切な語句を選択する（魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある）
- ◇話し合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する
- ◇適切な語句を選択する（姉はみんなと一緒に運動することが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ）
- ◇意見文の下書きに一文を加える意図として適切なものを選択する
- ◆話し合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く
- ◆段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する
- ◆「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く
- ◆「それでは」の働きとして適切なものを選択する
- ◆場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する（ハナイカダ）
- ◆本文の第6段落の説明として適切なものを選択する

<B問題>

- ◇二人の質問の意図として適切なものを選択する
- ◇二人に続いてする質問を書く
- ◆登場人物についての説明として適切なものを選択する
- ◆ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する
- ◆複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する

学習指導改善のための今後の方策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○ 話す・聞く能力を高めるために

- ・話し合いをする際には、提案や発言の内容を必要に応じてメモに整理したり、自分の考えと比較して考えをまとめたりすることができるようにする。【1年～】
- ・説明や発表をする際には、話し手と聞き手だけでなく、例えば、その場の様子を観察する立場を設け、発表の進め方等についてそれぞれの立場から検討することができるようにする。

○ 書く能力を高めるために

- ・分かりやすい文章を書くために、書いた文章を互いに読み合い、文章の構成について検討したり、必要に応じて文章を再構成したりすることができるようにする。【2年～】

○ 読む能力を高めるために

- ・目的に応じて説明的な文章を読み、文章中に示されている具体的な例が、書き手の論の展開の中で果たしている役割について考えたり、各段落で述べられている事柄の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているかなどについて考えたりしながら文章の内容を理解できるようにする。【2年～】
- ・文学的な文章を読む際には、目的に応じて、時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み、文章の理解を深めることができるようにする。【1年～】
- ・同じテーマで書かれた複数の説明的な文章を比較しながら読み、それぞれの文章の構成や展開、表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果について自分の考えをもつことができるようにする。【1年～】

○ 言語についての知識・理解・技能を高めるために

- ・心の動きや、身の回りの様々な物事などについて具体的な内容を盛り込んだ文を書き、伝えたいことを適切に表現するための**語順や語の照応について検討**することができるようにする。【2年～】
- ・「読むこと」の学習や他教科等の学習との関連を図り、指示語や接続詞などの知識が、**文章を読む際などに役立つことが実感**できるようにする。【1年～】
- ・身の回りにある**多様な語句**に関心をもち、場面や文脈においてその言葉が**どのような意味で使われているのか**を考えられるようにする。【1年～】

【中学校 数学について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

< A問題 >

- ◇ひし形が線対称な図形か、点対称な図形かを選ぶ
- ◇反復横とびの記録の中央値を求める
- ◆生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ
- ◆「1個a kgの荷物3個と1個b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く
- ◆大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める
- ◆グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ
- ◆五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを 90° に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ
- ◆等式 $S = 1/2 ah$ を、aについて解く
- ◆△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ
- ◆与えられた円柱の見取り図から、その円柱の投影図を選ぶ

< B問題 >

- ◇グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める
- ◆S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く
- ◆列車の運行のようすが直線で表されていること的前提となっている事柄を選ぶ
- ◆はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する
- ◆全校よりも1年生の解答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの原因について確率を用いて説明する
- ◆A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Eが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する
- ◆計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める
- ◆平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する

学習指導改善のための今後の方策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○「数と式」を高めるために

- ・事象において**比べようとする数量に着目**し、それらを**数や文字を用いた式で表し**、**不等号を用いて数量の大小関係を適切に表す**ことができるようにする。【1年～】
- ・2つ以上の文字を含む等式を、ある文字について解く場面を設定し、**等式の性質などを用いて目的に応じて変形**できるようにする。【2年～】
- ・**実生活の場面において**、2つの数量の差が表す意味を、**正の数と負の数の範囲で理解**できるようにする。【1年～】
- ・事柄が一般的に成り立つ理由を説明するために、**文字式や言葉を用いて根拠を明らかに**できるようにする。【2年～】

○「図形」を高めるために

- ・多角形の内角の和の学習では、**辺の数が増えると内角の和が一定に増える**という性質と、**辺の数が変わらなければ形や大きさが変わっても内角の和が一定である**という性質の2つを理解できるようにする。【2年～】
- ・2つの三角形について**どのような条件があればそれらが合同になるかを考察する場面を設定**し、辺や角に着目して三角形の合同条件を理解できるようにする。【2年～】
- ・空間図形を**投影図に表したり**、**投影図から空間図形を読み取ったり**できるようにする。【1年～】

○「関数」を高めるために

- ・樹形図や二次元の表などを利用して起こりうるすべての場合を数え上げ、**確率を求める**ことができるようにする。【2年～】
- ・具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの**変化や対応の様子を調べる**ことをとおして、2つの数量の関係が一次関数であるかどうかを判断することができるようにする。【2年～】
- ・グラフを用いて**変域を視覚的に捉え**、変域を求めることができるようにする。【1年～】
- ・連立二元一次方程式の解は**2直線の交点の座標として求められる**ことを理解できるようにする。【2年～】
- ・ダイヤグラムは、列車の運行のようすを列車の速さが一定であると理想化・単純化して直線で表したものであると捉えることができるようにする。【2年～】
- ・問題解決の方法に焦点を当てて、何をどのように用いればよいかといった「用いるもの」と「用い方」を確認し、**表、式、グラフの「用い方」について説明**できるようにする。【2年～】

○「資料の活用」を高めるために

- ・目的に応じて**資料を整理**し、資料の中で最も多く出てくる値である**最頻値を表やグラフから読み取れる**ようにする。【1年～】
- ・樹形図や二次元の表などを利用して起こりうるすべての場合を数え上げ、**確率を求める**ことができるようにする。【2年～】
- ・目的に応じて収集したデータから状況を把握して、問題解決のための構想を立てて実践し、評価・改善することをとおして、**数学を利用することの意義や数学のよさを実感**できるようにする。【2年～】

【中学校 理科について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

- ◇シミュレーションの結果から【考察】について見直し、台風の進路と関係していることについて書く
- ◇【新たな実験】でもっと明るい場所に置くことによって明るさ以外にも変わってしまう条件について書く
- ◇アルミニウムの原子記号の表し方について正しいものを選ぶ
- ◆神経系の経路について、Xに当てはまる語句を書く
- ◆「地震の揺れの強さ」と「S波による揺れ」をそれぞれ何というのかについて1つずつ選ぶ
- ◆グラフの結果から、発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることについての文を完成させる
- ◆実験結果を示した表から電流の値を読み取り、オームの法則を使って抵抗の値を求める
- ◆濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものと、濃度が3.0%のものを選ぶ
- ◆太平洋高気圧の特徴について正しい内容を選ぶ

学習指導改善のための今後の対策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○「化学的領域」を高めるために

- ・課題に**正対した考察**を行う上で、観察・実験の結果の**グラフを分析して解釈**できるようにする。
- ・オームの法則を使って、**抵抗の値**を求めることができるようにする。
- ・特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水の質量を求めることができるようにする。

○「生物的領域」を高めるために

- ・自然の事物・現象と実験の装置や操作を対応させた**モデル実験**をとおして、**科学的に探究**できるようにする。

○「地学的領域」を高めるために

- ・緊急地震速報を取り上げ、その仕組みについて調べたり発表したりすることをとおして、**理科を学ぶことの意義や有効性を実感**できるようにする。
- ・日本の天気の特徴を**日本周辺の気団と関連付けて捉える**ことができるようにする。

【児童・生徒の質問紙調査の結果から】

【全国平均と比較して、達成率の高い項目】

〈小・中共通〉

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・家で、学校の予習・復習をしていますか
- ・家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることができますか。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか
- ・算数（数学）の勉強は好きですか
- ・算数（数学）の授業の内容はよくわかりますか
- ・算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。
- ・算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
- ・算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ・算数（数学）の授業で公式やきをまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか
- ・理科の勉強は大切だと思いますか
- ・理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ・理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか
- ・観察や実験を行うことは好きですか
- ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか
- ・理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えて（観察や実験の結果をもとに考察して）いますか
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方が間違っていないかを振り返って考えていますか
- ・5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

〈小学校〉

- ・家で、学校の宿題をしていますか。
- ・算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか
- ・理科の勉強は好きですか。
- ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えていますか
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか
- ・5年生のとき、理科の授業を受けた後、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか
- ・今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などとおもいますか

〈中学校〉

- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・学校の規則を守っていますか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
- ・1、2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか
- ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることありますか。
- ・数学の勉強は大切だと思いますか
- ・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

- ・数学の授業で問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題を最後まで解答を書こうと努力しましたか
- ・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
- ・今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。
- ・理科の授業の内容はよく分かりますか
- ・自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか
- ・理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか
- ・今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。
- ・1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか
- ・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
- ・調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）

【やや課題があると考える項目】

〈小学校〉

- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・学校のきまりを守っていますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
- ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることありますか。
- ・新聞を読んでいますか

〈中学校〉

- ・朝食を毎日食べていますか
- ・理科の授業の内容はよく分かりますか
- ・自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか

【今後の方策について】

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、授業の予習・復習している。」等、自主的に家庭学習に取り組んでいる割合が高いことについては、**行田市学力向上推進委員会を中心とした家庭学習の推進の成果**であると考え。今後も、**家庭学習の一層の定着及び質の向上を図る**ため、学校と家庭との協力関係を高めていく。
- ・子供たちが、授業をとおして、「分かった・できた喜び」を味わい、「自己肯定感」を高めていくためには、**教師の温かな励ましと見届けが必要**であると考え。今後も引き続き、**子供たちの達成感を醸成させるための授業改善**を図っていく。
- ・調査問題を解く際に、**何について問われているのか**、また、**その問題を解くためにはどの資料が必要なのか**といった、**解答を導くための読解力**に課題が見られる。多くの教科で**目的をもった調べ学習**を充実させ、**必要な情報を正確に読み取れる力**をつけるための授業改善を図っていく。
- ・よりよい人間関係づくりをするために、子どもたちが**「人の絆」の素晴らしさを実感する学習や体験活動**のほか、「**行田の足袋学習**」や「**行田ふるさと学**」を通して行田のよさを実感させ、学校と地域とのつながりを深める機会などの充実に努める。
- ・子供たちが読書に親しむことができるように、家庭との連携を図りながら、**読書の質と量の改善につながる取組**を推進していく。